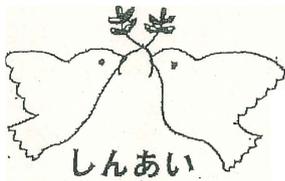


2022年度9月 1日



しんあい

せいしよの
ことば



オリーフ通信

あるものは百倍にもなった。

マルコによる福音書4章8節

神愛保育園

「九月をおかえて」

まだまだ残暑が厳しいですが、秋を感じさせる風が心地よく感じます。この夏には、幼児ではグループで協力をして行った夏祭り。この2年間できなかった水遊びやプール活動。乳児では、お友だちとの関係性がますます強くなり、遊びに広がりが出ています。

これからの季節は、子ども達が戸外で活動しやすい時期でもありますから、今までの積み重ねた体験をもとに、一人ひとりの成長が大きく飛躍するよう願っています。そのためにも、コロナの基本感染対策をとりながら、少しずつ多くの活動ができるように計画していきたいと思います。この穏やかな秋の季節に戸外でたくさんの活動が安心してできるようにと願うばかりです。

さて、先日8月27日に、小学生の卒園児と共に夏の活動を行いました。この2年間、中止していたサマースクールという宿泊行事の形を変えたものです。神愛保育園では、創立以来卒園児とのかかわりを地域子育て支援活動と共に大切にしています。

地域の中で、卒園児の子どもたちの受け入れ先である、キッズ深川、キッズ八名川、キッズ明治、また、子育て支援の施設である深川北子ども家庭支援センターは同じ法人が運営委託を任されています。施設職員とのつながりもありますので、私たちも、卒園児の成長を共に見守らせてもらっています。

当日、保育園に1年生から6年生の小学生が30名が集まりました。

コロナ以前は、夏休みの「一日保育士体験」等で在園児も、卒園児との交流が毎年のようにありました。そのため、2年間顔を見なかった卒園児の成長には、本当に驚かされました。卒園児たちは、懐かしいおもちゃや絵本を見て、保育園時代に戻ったように、遊び始めていました。学校が違って学年が違って、同じ「神愛卒園児」という共通項が子どもたちを結び付けています。

3歳児の部屋で遊んでいた5年生、6年生は、懐かしい「ぼぼちゃん」人形で遊び始めて盛り上がっていました。近くにいた保育者は、お人形であそぶ卒園児を「かわいいな」と思って「何しているの?」と尋ねると、「ぼぼちゃん『ダサコーディネート』を考えている」とのこと。半面、このプログラムの中で提供する昼食やおやつのアイスクリューを準備したり、買い物に行ってくれる姿もありました。

低学年児にとっては、学校で見たことのある高学年の人と一緒に食事をしたり、遊んだりしていつもとは違う体験ができたことと思います。夏休みが明けて小学校に戻る際のちょっとした安心感につながってくれることを願っています。

在園児にとっても、卒園児にとっても保育園が第二のお家のように気軽に足を運べる場にこれからもなっていけたらいいなと思います。 神愛保育園園長 鵜澤由記子





食事だより

収穫した夏野菜で様々なクッキングを楽しみました！

きゅうり炒め



もも組

オクラ納豆・枝豆おにぎり

ちゅうりっぷ組



夏野菜ピザ

ひまわり組年中



ずんだ餅



ひまわり組年長

私の好きなメニュー【その⑤】
※職員の好きな食事のメニューを聞きました！

☆ 浦田典恵(つくし組) 神愛歴 11年 ☆

- ①パゲッティミートソース：子どもたちも大好きな献立で、大人もミートソース大盛りでおいしく食べています。保育園レシピの中でも「家で作れるだろう！」とチャレンジしてみました。何が足りず…でした。(味の再現はやっぱり難しいですね。)
- ②いもかつ：幼児クラスを担当する事が多く、芋掘り遠足にも何回も行きました。さつま芋に豚肉を巻いて揚げられているいもかつを見て、「さつま芋にお肉が巻かれてる！」と子どもたちと同様に感動した一品でした。



8月は上旬から高温が続き猛暑となり、熱中症警戒アラートが出る日もありました。天候や水温の条件を見ながら、プールやシャワーの活動を行いました。体調管理の難しい厳しい気候の中、夏の疲れが出てくる頃です。園でも水分補給や休憩をとるなど、体調管理に気を配っていきます。例年9月も気温や湿度が高い日がありますので、引き続き熱中症に注意をしていきましょう。

【真夏の感染症】

7月下旬から地域で手足口病の流行が始まり、8月半ばにピークを迎えました。園でも8月上旬から、中旬にかけて流行が乳児を中心に拡がりました。幸い髄膜炎や脳症など、重症化する例はありませんでした。繰り返し感染することで免疫を獲得していく疾患で、何度も罹る心配があります。園ではこれまで同様の感染症対策を続けていきます。ご家庭では、食事と睡眠をしっかり摂るなどで免疫力を高めていけるようお願い致します。

◆9月1日は防災の日◆

園では毎年引きとり訓練が実施され、災害時の対応について確認とご協力をいただいています。ご家庭でも、この機会に日ごろ備えている防災用品や救急用品の確認（期限切れのものはないか、季節に合っているか、サイズは大丈夫かなど）を試みてはいかがでしょうか。



ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



外に出ればまだまだ汗ばむ季節ではありますが、少しずつ秋の訪れも感じますね。



今年の夏も暑い日が続き、ひだまりの水遊びやプールにも、涼を求めてたくさんの親子が参加してくれました。ひだまりでは今年度噴水マットを購入し、水遊びを行いました。なかなかマットの中には入らず、外側から水遊びをする子の姿が多く見られました。バケツやじょうろや水鉄砲などを使って遊びました。回数は少なくなりましたが、プールにも入ることが出来き、初めてプールに入る子もプールを習っていてプールに慣れている子も嫌がることなくみんな積極的に入って遊ぶ様子がありました。こんな世の中ではありますが、プールや水遊びをたくさん楽しめた夏になりました。

今年度の噴水マットを購入し、水遊びを行いました。なかなかマットの中には入らず、外側から水遊びをする子の姿が多く見られました。バケツやじょうろや水鉄砲などを使って遊びました。回数は少なくなりましたが、プールにも入ることが出来き、初めてプールに入る子もプールを習っていてプールに慣れている子も嫌がることなくみんな積極的に入って遊ぶ様子がありました。こんな世の中ではありますが、プールや水遊びをたくさん楽しめた夏になりました。

9月10日(土) 10時10分からひまわり組にて土手浩恵さんによる「ベビーマッサージ」の父親講座を行います。お父さんのみでもお母さんのみでもみなさんでの参加も大歓迎です！

父親講座

講師：土手 浩恵氏

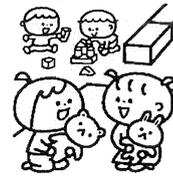
(日本マタニティケア協会認定講師の先生です)



ご興味のある方は担任やひだまり担当橋本まで是非！お声掛け下さい！



ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2022年 8月 16日(火) 天気 晴れ つくし組(0歳児)

みんなでお祝い 嬉しいね

今日はAの誕生会を行った。準備を始めると、何が始まるか気になったようで「なんだろう」と集まってきた子どもたち。誕生会が進んでいき、大人が拍手をすると、楽しい雰囲気子どもたちはとても笑顔だった。みんなが嬉しそうに拍手をしているのを見て、Bは立ち上がって子どもたちに向けて拍手をしていた。その光景を見ていたCも、嬉しそうに笑っていた。他の子どもたちも楽しそうな表情をしていた。クラスでの7回目の誕生会ということもあり、慣れてきた子どもたちは緊張した様子はなく楽しんでいた。みんなでお祝いすることが出来て良かったと思う。

0歳児つくし組の誕生会の様子です。誕生会の楽しい雰囲気を感じ、笑ったり手をたたいたりして、嬉しそうに参加する子どもたちの姿がありますね。神愛保育園では、幼児クラスは月に一回その月の誕生児みんなでお祝いをし、乳児クラスでは、お誕生日の日にお祝いをしています。日誌の中に“緊張した様子はなく…”とありますが、入園して初めのお誕生日のお祝いでは、何をするか分からず、不安そうな表情をしたり遠くから見ている子どももいたのですが、今は誕生会を“楽しい時間”と捉え、自分やお友だちが生まれた日やお祝いを嬉しい気持ちで過ごすことが出来るようになり嬉しく思います。

慣れてくる＝わかってくるというのはとても大切で、(大丈夫と思う)経験を重ねていくことで安心が生まれ、「楽しもう」「やってみよう」というプラスの感情を持つことが出来るようになっていきます。また、この場面でもそうですが、周りの雰囲気を敏感に感じ、“安心できる大人やお友だちが笑っているから、きっと今は楽しいんだ”と思うことも出来るようになります。クラスでの安心した毎日から笑顔が生まれてくることを改めて感じます。一人ひとりが安心して心を開放できる場所になるよう、日々の積み重ねを大切にしていきたいと思う日誌でした。

2022年8月23日(火) 天気 曇りのちはれ ひまわり組(4・5歳児)

「いっしょにいてあげる！」

電車を借りるため、ちゅうりっぷ組に行った年中児 C。すると、泣いて帰ってきた。その様子を見て心配する年長児 A。A が泣いた理由を聞くと、電車を借りるために保育者 D とじゃんけんをしたら負けてしまったということが分かった。それを聞き A が「一緒に行きあげ」と言ってちゅうりっぷ組へ二人で向かった。しかし、C はじゃんけん自体の理解がまだ難しく、自信がない。保育者 D がじゃんけんを誘うも泣いて A にすぎる。A が「保育者 D はグーしか出さないはずだから、C くんパーを出そう！」と保育者 D の前で打ち合わせをする。保育者 D は話を合わせてグーを出し、C は勝利する。すると、成功体験が積めたようで、その後ひまわり組のお友だちや保育者でじゃんけんをするときにも自慢げにパーを出してじゃんけんに参加するようになった。C には、経験と成功体験が大きな一歩につながることを改めて感じた。今後も、小さなことも一つずつ挑戦して自信につなげていきたいと思う。

8月は、夏休みをとられているご家庭もあり子どもの人数が少ない日が多くありました。そのため、年中、年長児と一緒に遊び、日常の様々な生活の部分で声を掛け合い、助け合うという時間がとても多くみられました。8月の日誌を読んでいると、いつも違うグループで遊んでいる子どもが、今まであまり遊んだことのないグループのお友だちに勇気を出して「いれて」と声をかけて遊んでいる姿もありました。4月からひまわり組として4・5歳児と一緒に過ごし始めた中で、子どもたちの距離感が近くなっていくことを感じています。日誌の感想にあるように、それぞれの子どもたちが体験する小さなことを一つずつ挑戦しながら、それが自信につながっていく8月だったのではないのでしょうか？

さて、上記の日誌は、本当に面白い子どもの姿だと感じています。年長児 A が年中児 C に対して具体的なことを伝える能力や考える力には驚かされますし、また年中児 C にとっても成功体験の積み重ねが自信につながっていき、こみあげてくる喜びをまわりの人に伝えていきたいという子どもらしい姿を見ることが出来ます。

残り半年となるひまわり組の中で、「一緒に悩んでくれてありがとう」「困っていた時助けてくれてありがとう」と言える関係が子どもたちの中に育ってほしいと思います。



子ども会・1 dayサマースクール報告（卒園児）

8月27日（土）、卒園児の子どもたちが集まり“1 dayサマースクール”を行いました。例年は清里での宿泊活動なのですが、コロナウイルス感染の為今年は保育園で一日過ごそう！という企画に変更になりました。当日、久しぶりに卒園児の小学生たちや保護者の方たちに会い、とても懐かしい気持ちでいっぱいになりました。



始めは少し緊張した様子の小学生たちでしたが、時間が経つと保育園時代と変わらない笑顔とにぎやかさが戻ってきました。午前中は製作あそびをして、お昼ごはんは懐かしの保育園カレーを食べました。たくさんお代わりもして、あっという間にお鍋の中のカレーは空っぽに！「あーお腹いっぱい」と満足そうな小学生でした。午後はDVDを観たり高学年生に買ってきてもらったアイスを食べ過ぎて過ごしました。終わりの時間になると「まだ帰りたくない！！」と口にする姿も多く、久しぶりの保育園を楽しんでくれたようで嬉しく思いました。これからも工夫をしながら活動を行い、卒園しても繋がっている関係を大切にしていきたいと思います。

